

山梨県立大学安達ゼミ

安達ゼミは
「地域振興」
「まちづくり」
を研究目的に
活動しています！

地域密着型の
ゼミです！



- 取材企業一覧**
- ・(有)アウティングプロ
 - ・ダクツエルク
 - ・KEIPE(株)
 - ・生活協同組合
 - ・パルシステム山梨長野
 - ・武山工業(株)
 - ・(株)プロヴィンチア
 - ・(株)湯村自動車学校



3年:佐野歩夢

SDGsと聞いて凄く興味が湧いたよね！
最初、ワークショップで他大学と交流ができて楽しかった！
佐野

どう質問したらいいか、凄く考えたし、
経営者にインタビューすることが普段ないから緊張した！ **佐藤**



3年:佐藤麗乃



各企業、知らないだけで独自性のある
取り組みをしていて早く発信したくなったよね！
掛川



3年:白鳥霞

いざしてみると快く受け入れてくださって、
インタビューしやすかったしね！
白鳥



3年:掛川紗帆



2年:馬場麻綸

もう少し突っ込んだ質問ができればよかったかな・・・
あとはもっと早く書くべきだったかも・・・
馬場

学生視点のいいレポートができたから、
取材先含め多くの方に見てもらえるといいね！
名取



2年:名取沙羅

「アウトドアスポーツの魅力を発信し続ける」

山梨と言えば自然
自然と言えばアウト
ドアスポーツ

それをサポートす
る立場としての取り
組みに興味を湧き
ました！

山梨県立大学
佐野歩夢



「より多くの方に
アウトドアスポーツ
の魅力を伝える」
ためにお店をして
いるよ！

代表取締役社長
柳澤仁

企業紹介

- ・多様な山岳エリアを抱える、山梨県甲府市にある「創業40年以上、信頼のアウトドアショップ」
- ・スタッフはアウトドアが大好きな人間ばかりで、日々山梨のフィールドで遊びながら商品をセレクト
- ・山梨のショップだからこそ伝えられる情報や遊び方を発信・提案

↓詳しくはこちら↓



特徴

- ・愛用品を長く使ってほしいという思いから、修理歴40年の技術者が親切、丁寧に修理
- ・手ごろなお値段で登山靴やストック、テントなどのレンタルが可能！
- ・山梨県で唯一、アークテリクス/パタゴニアなどのアパレルから、シューズ・ザックなどこだわりの商品をセレクト！

なぜ山梨で

佐野: どうして山梨で始められたんでしょうか？
東京のほうがビジネスとしてはやりやすいのでは？

柳沢さん: どうしても自分の出身の山梨が良かったんだよ

佐野: 山梨でうまくいったポイントは何だと思いますか？

柳沢さん: 県庁所在地から10分15分で登山口までいける場所はそうそうないよ。
現場まですぐ行ける立地であることは、アウトドアスポーツをする上でも、大きな魅力だよ！

創業の想い

社長の柳澤さん25歳
アウトドアスポーツの本場、アメリカに1年半放浪

特に釣りが好き！
とにかくその時間が楽しくて、その思いをぜひ
日本人に広めたい！せっかくなら仕事にしたい！

「エルクマインドでSDGs」



佐野:エルクさんでは有名ブランドを扱っているイメージがありますが...

柳沢さん:このダウンをみてください(右の写真)。これは、お客様が20年、30年も使い続けられているものです。

佐野:30年ですか？僕より年上ですね！

柳沢さん:はい、捨ててしまえばそれまでですが、エルクで修理すれば、長く使えることがよく分かります。

2・3年前のものでも古いと言われるくらい、今はなんでも流行りに乗せられる時代ですが、自然を相手にしているからこそ、自然を守ることは楽しむ拠点を守ることに繋がっています。



甲府市SDGs推進
パートナー登録の理由



きっかけは、6年前の朝日新聞。マイクロプラスチック問題の記事として、アウトドア業界でも販売していたポリエステル系のフリースが、洗濯されるたびに、マイクロプラスチックを流していることが、問題点になってることを知った。しかし、仕事のこともあるのでどうしたらよいかとなり、1度原点に戻ってかつての天然素材のものを作ってはどうかと。

そこで、ヒマラヤのヤクからとれた毛を使って、3年前から「MaHoRoBa」という新商品を考案した。そして昨年、商品化したことがきっかけで、ちょうど甲府市の登録制度を知り、申請しました。



MaHoRoBa

ヤクの毛は5年で土に還る

天然の調湿機能・軽量・動きやすい形

MaHoRoBaのニットはご家庭の洗濯機で洗濯可

毛玉ができづらい



ヤク



エルクの看板犬。2月14日生まれの7歳(2023年現在)。

犬種はオーストラリアンケルピーの男の子。
ドラマ版ゆるキャン△・ゆるキャン△2に出演したこともあり、全国のファンが会いに来てくれる。

LINEスタンプ



「原点を見つめ直し、循環できる商品を作る」



社長の想い

むかし下水道などが現在ほど整備されていなかった時期に、富士川でカヌーをしたことがあったんだよね。洗濯で使った水も関係なく流されてくる川は、人間の皮膚にも良くなく、赤く腫れたこともあったんだ。現在はそのようなことはないけど、**ミクロ**に目を向けてみると、MP問題のように**気づかないうちに環境を汚染・破壊しているケース**が日常生活にも見てとれるよね。

アウトドアスポーツは自然が現場であり、環境が密接であるからこそ、エルクでは「自然に還る、服」を提供することにこだわっているんだよ。

「原点を見つめ直し、循環できる商品を作る」。

安価で大量生産を求められていた時代を過ぎ、「**還る服を着て、地球を味わう**」、新たなコンセプトで挑み続け、自然を守りながら自然を楽しむサポートをエルクは目指していきたいんだ。



取材を終えて



担当レポーター：佐野歩夢

エルクでは**自然を大事**にするマインドを商品開発に活かし、そしてその取り組みに対し、お客様は**思いや姿勢**に惹かれ、商品・サービスを選択するようになってきています。

SDGs といっても**やり方は様々**で、正解がないからこそ、企業ごと特色を出すことができ、その輪が広がることでよりよい社会を築くことができることを学びました。

そしてより多くの企業様が連携し、**SDGsの輪**を広げていくことで、より一層ビジョンが明確になり、各目標の達成に向けた試みが加速していくのではないのでしょうか。

「誰もが楽しく働ける社会に！」

福祉系の穏やかな会社だと思っていたら、熱い社員さんだらけで驚きました。

山梨の地域振興に大きな一石を投じてくれる予感がします...!

山梨県立大学
佐藤 麗乃



福祉にとらわれず、心が満たされる場・働く喜びを伝える人を創るよ!

気軽にオフィスにも遊びに来てね!

代表取締役
赤池 侑馬

企業紹介

障がい者就労継続支援をはじめ、多くの方が自身の強みを発揮・チャレンジできるようにECや、ものづくり、飲食といった様々な事業も行う中で、障がいの有無に関わらず誰もが活躍できる環境づくりを目指しています!

特徴

- ・できないことがあるのは当たり前。**みんなでカバー**する力があります!
- ・自分のペースでどんどん成長できる環境、そして仲間がいます!
- ・**やってみたいことがある人**をとことん応援!
- ・福祉業務に限らずどんどん事業を展開している熱い会社です!



なぜ山梨で



創業の想い

才能があるのに障害を抱えているだけで一般企業に就労できない生きづらさに目を向けた。いままで見つからなかった人の才能に気づき、引き出していくこと。社会人としての「教育」を提供できる場であり続けたい。

佐藤: どうして山梨で始められたんでしょうか? 最初は千葉で教員をされていたと伺いましたが...

赤池社長: 昭和町が出身で、地元愛から帰ってきました。

あとは、仕事をするきっかけとなった兄が山梨にいるからです。

佐藤: 地元愛・家族愛ですね!

赤池社長: これもSDGsですか? 笑

「社会にとって当たり前であるべき」

甲府市SDGs推進
パートナー登録理由

私たちが登録をしに行ったわけではないのですが... (笑)
外部からみて、私たちの取り組みがSDGsに当てはまっていて、
評価されているというのはうれしいですね！
あまりSDGsに頼りたくはないのですが、
登録していることによって他社からの認知を頂けたり、
弊社への理解を頂けたらうれしいですね。

社長の思うSDGs

8 働きがいも
経済成長も

佐藤: ここだけの話、社長は元々SDGsに関心はありましたか？

赤池社長: SDGsを意識して取り組んだことはなかったですね。

佐藤: 取り組まれていることのほとんどが17のゴールにマッチしているの
ですか!?

赤池社長: 自分たちがやってたことにSDGsが枠をつけてくれたって感じかな。
取り組みの根本を明確にしてくれる枠みたい。だからSDGsというゴール
があるおかげで働きやすくなりましたね。SDGs達成に向けて取り組むの
は、会社の在り方として当たり前のことではないでしょうか。

取り組み

就労支援(A型)

一般企業に就労することが困難と判断される身体・精神・知的障害・難病等のある方に「**雇用によって就労の機会**」を提供します。実際の業務や職業訓練を行いながら、知識や技術の向上を図り、職業能力や体調管理能力などの生活力を身に付けていただいています。最終的に一般企業での就労を目指していきます。なんでもご相談ください！

ECサイトの運用

地域の農家さんたちが、せっかく育てた大切な作物を無駄にしたくない、なんとか解決したい、と思い事業を展開しています！また、古紙の再利用でトイレットペーパーをつくっています。売り上げが出来たら地域の困っている子供たちに何かしらのプレゼントをしています。これからは、商品開発や企画、生産、発送などでみんなが活躍できる場所として、雇用機会も作っていきたいと考えています！

その他、事業拡大中！

雇用の機会を増やせること、地域をよく出来ることなら何でも取り組んでいくつもりです！地域の企業には53社ほど協力を得て活動できているが、もっと多くの企業都市と刺激を与え合って「**誰もが働ける社会**」のロールモデルを山梨で創っていきます！

「2030年までにやりたいこと多数！」



社長の想い

私たちの最終ゴールは「働く喜びを分かち合えるデザインをつくる」ことです。障害を持つ人に限らず、社会をアップデートする必要があります。人材の潜在的な才能に気づける会社、多様な人が働ける会社、従業員に愛を持っている会社が山梨には必要です。2030年までに達成したいことは多々ありますが、学校をつくる、山梨県の法定雇用率1位、多様な人が働ける地域のロールモデルをつくることに尽力していきたいです。多様な人の働き方の価値観を理解し、わくわくしながら働ける人が増えるコトって、最高に「SDGs」だと思っています。



取材を終えて



担当レポーター
佐藤麗乃

「SDGsについて意識して経営をしてきたことはないよ」という社長からのストレートな言葉に驚きました。今の時代にSDGsのどの項目も達成できていない企業はほとんどないと教えて頂きました。私は今就職活動中の大学三年生ですが、自分が将来貢献したい分野と、企業が意識するSDGsの柱を比較して検討していく方法もアリなのかな、と思います。

インタビューを通して、SDGsに貢献することは、目標の設定ではなく、ある意味当たり前のこと、自分たちが目指しているところを明確化してくれる指標なのだと感じました。一番難しいところは、1つの企業が頑張っただけで達成に向けて取り組んでも、社会全体が同じ方向にベクトルを向けていないと全体的に改善されていかないところです。

これからの企業のあるべき姿は、利益追求のみならず、社会問題の解決の一端を担う社会の柱であるべきだと思いました。KEIPEさんではこれからも事業を拡大していくとのことで、山梨県を引っ張るリーダー的な存在になりそうです。

「かかわる つながる ささえあう」

「地域の暮らしにより身近にかかわる組織であるからこそ、可能な取り組みに、興味を持ちました。」

山梨県立大学
掛川紗帆



「食の安心安全を通じ、組合員様や生産者といった地域との繋がりを大切にしています。」

常勤理事
管理運営本部長
池谷好司

企業紹介

- ・山梨県・長野県(一部エリア)で、**食を中心**とした商品の供給や共済・保険、電力などを展開している。
- ・**非営利の協同組合**。消費者が互いに助け合いながら、より良いくらしや社会を実現する「**消費者の組織**」である。
- ・消費者は「出資」金を出して組合員となり、事業や活動の「運営」や商品・サービスを「利用」する。運営の主役は組合員である。

理念 ビジョン

<理念> **愛・夢・輝き**

「愛」の心で安全と安心を、地域と組合員にお届けし、社会人としての自覚と責任を持ち、「夢」に挑戦、ホスピタリティに「輝き」、そして誠実に組合員に接します。

<ビジョン>

「かかわる つながる ささえあう」

協同組合として、人・くらし・社会を見つめ、笑顔あふれる地域を創ります

こだわり

消費者と生産者との繋がりを大切にしている

- ・生産者には、国産・無農薬・有機栽培といった商品の背景を大事にもらい、つくる責任を感じてもらう。
 - ・消費者には、商品と共にストーリーを伝える。
- 消費者と生産者が**交流することで支え合っている**。



SDGsについて



掛川: パルシステムさんでは、どのようなSDGsの取り組みをされているのですか？

池谷さん: パルシステムでは、**17の項目全て**に対して、取り組みを行なっています。

掛川: 特に重視している項目はありますか？

池谷さん: 主に二つあります。

- ①**3R**を中心とした「環境」に対する取り組み
- ②組合員との関係づくりや毎週の配達時の見守りなど、「**人**」に対する取り組みには力を入れています。

「職員から組合員まで、一緒になって取り組む」



3Rへの取り組み

12 つくる責任
つかう責任



課題・工夫

掛川 : 環境への取り組みに関して、課題に感じていることはありますか？

池谷さん : 組合員様への**認知の問題**です。どの商品の回収・リサイクルが可能なのかわかりやすく周知をすすめ、回収率を高めたいと思っています。

掛川 : そのために、何か工夫されている取り組みはありますか？

池谷さん : 毎週の配達時、ドライバーからの回収するものがないか**声かけ**を行なっています。その他、**チラシの配布**や、**新規加入時に説明**を行なっています。

掛川 : なぜ、特に環境に力をいれているのですか？

池谷さん : お届けするドライバーから、**組合員である消費者まで、全員が一緒になって取り組める**ため、特に環境に力をいれています。中でも、**牛乳パックの回収**は、山梨県大月市の市民団体から始まったこともあり、力をいれている部門でもあります。

Reduce リデュース

- ・トイレトーパーの持ち手を2センチ短くする。→年間2.2トンの削減
自宅まで配達するからこそできる取り組み
- ・ティッシュペーパーは箱ではなく、ビニールで(一部商品)
- ・生鮮食品のプラスチックトレーを無くし、真空パックでお届け

Reuse リユース

- ・ビンに入った調味料・ジャムなど、容器を回収し、洗浄して再利用

Recycle リサイクル

- ・牛乳パック回収
- ・シャンプー・ボディソープを紙パックにして回収
- ・通常のスーパー等では回収されていない事が多いABパック(中身が銀色のパック)の回収
- ・商品注文時に使用される紙の商品カタログ
- ・紙のたまごパック



マークのある商品は
リユース・リサイクル
対象です。

「繋がりを意識し、少しでも関わる事が大切」



想い

- ・パルシステムでは、全ての項目に対して取り組みを行なっています。だからといって全てを達成したいというわけではありません。
項目一つ一つは繋がっている取り組みだと思います。だからこそ、SDGsのゴールに向けて、**全ての項目に少しずつでも関わっていく事が大事**だと思います。
 - ・SDGsに関する取り組みを全くやっていないという方はいないと思います。SDGsは自分には関係がない、難しそうと捉えるのではなくて、日常の中で**何かやっている**と認識し、**次も行動してみよう**と思える事が大切だと思います。
 - ・今まで取り組んで来たことは、SDGsが登場する以前から行なってきたことですが、SDGsが設定されたことによって、「今までやってきたことは、正しかったんだ」という**モチベーション**になりました。
 - ・生活協同組合として、今後も、**地域が繋がって、豊かな社会づくりに貢献**できたら良いと思います。
- CO₂削減といったSDGsの具体的な目標もちろんあるが、**地域の皆さんと共に取り組む**ということが一番だと考えています。



取材を終えて



担当レポーター：掛川紗帆

SDGsの達成のためにどんな取り組みをするかという事はもちろん大事ですが、**一人でも多くの人**がその達成のために**関わるかどうか**が重要だと学びました。

池谷さんがおっしゃっていたように、SDGsに対して何も行動を起こしていないという人はいないと思います。

まずは、既に行なっている行動を振り返り、「**自分の行動はSDGs達成に繋がっている！**」という認識が持てれば良いと思います。

認識が、自信となることで、他の項目達成のための行動にも繋がってくるはずです。

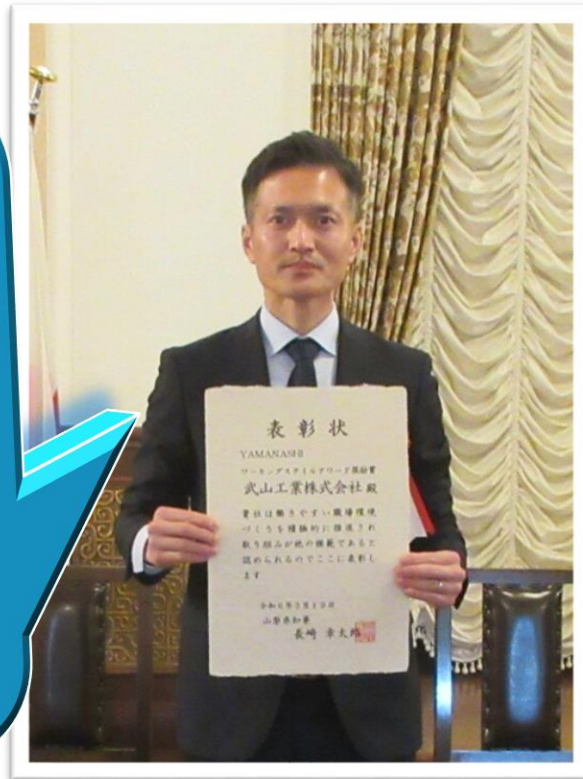
多くのひとが、SDGsを認識できるよう、まずは地域の身近な企業が中心となり、地域の人々がSDGsに関われる機会が増えれば良いなと思いました。



「誰もが幸せになれる場所をつくる」

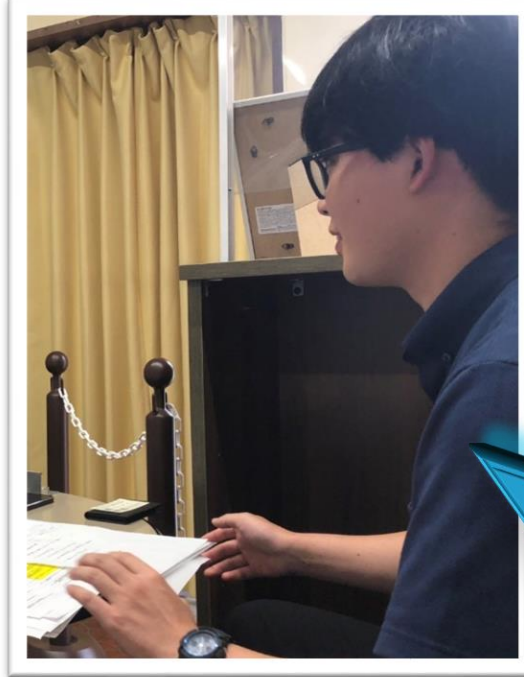
一見お金に関係なさ
そうな「社会貢献」、
「人的資本」に注目し
て会社の運営に携
わっています。

山根専務取締役



SDGsに対して、資材
や環境面でしかアプ
ローチできないと
思っていました。

山梨県立大学
白鳥霞
佐野歩夢



企業紹介

- ・山梨に拠点を構える、**防水工事** 強み有
- ・歴史に裏付けられた多種多様な技術
- ・事務所に設けられたトレーニング施設を利用
してサービス提供の質を日々向上
- ・地域に根差した経営を実現するために、**地
域清掃**や**ボランティア**への積極的な取組

特徴

- ・品質には細かいこだわりをもっています
- ・創業当初より、山梨県内で弊社のみが
唯一自社施工できるアスファルト防水！！
- ・アスファルト防水と同じく、山梨県内で弊社
のみが**唯一**自社施工できる加硫ゴム系シー
ト防水



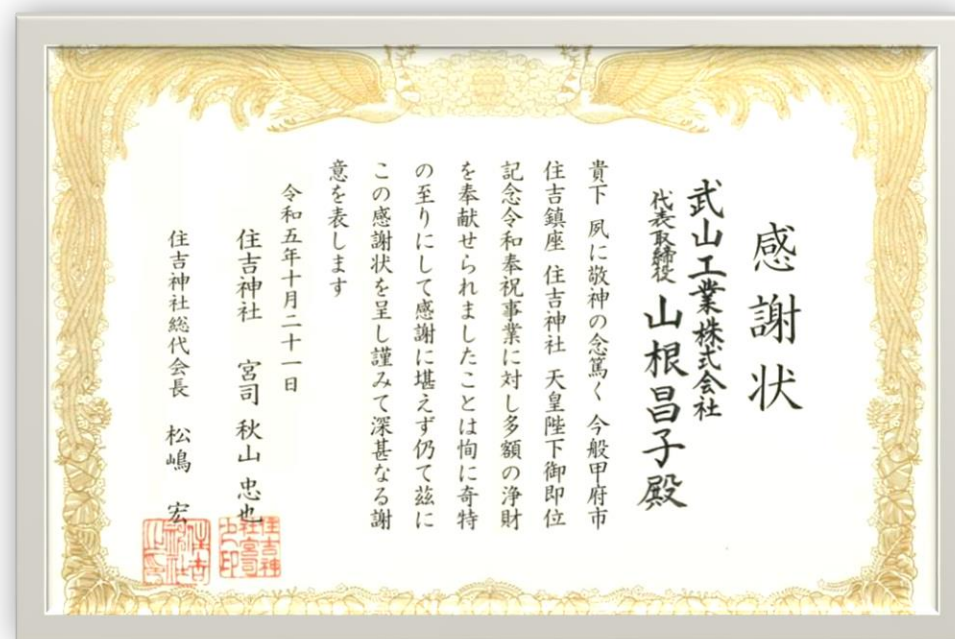
なぜこの社章

【竹型で作った山の形は**和らかさの内に、
折れず強靱性**を表はす】

このような思いから、現代にいたるまで社
章が連綿と受け継がれています！



「身近なところから始めるSDGs」



白鳥: 武山工業さんでは社員の方を大切に扱っているイメージがありますが...

山根さん: そうですね。これには私の経験が関係しているのですが...
以前神戸で営業職をしていたため、職業柄サービス残業はあたりまえ、上司には言いにくい雰囲気、有給も取りにくいという経験がありました。そこで、せつかく働きにくるなら楽しさややりがいがある職場にしなければならないという強い熱意を感じ、**社員の健康管理**から始まり様々なフォローアップをしています。

白鳥: ご自身のキャリアからくる実体験を元に、労働環境を整えられたのですね！

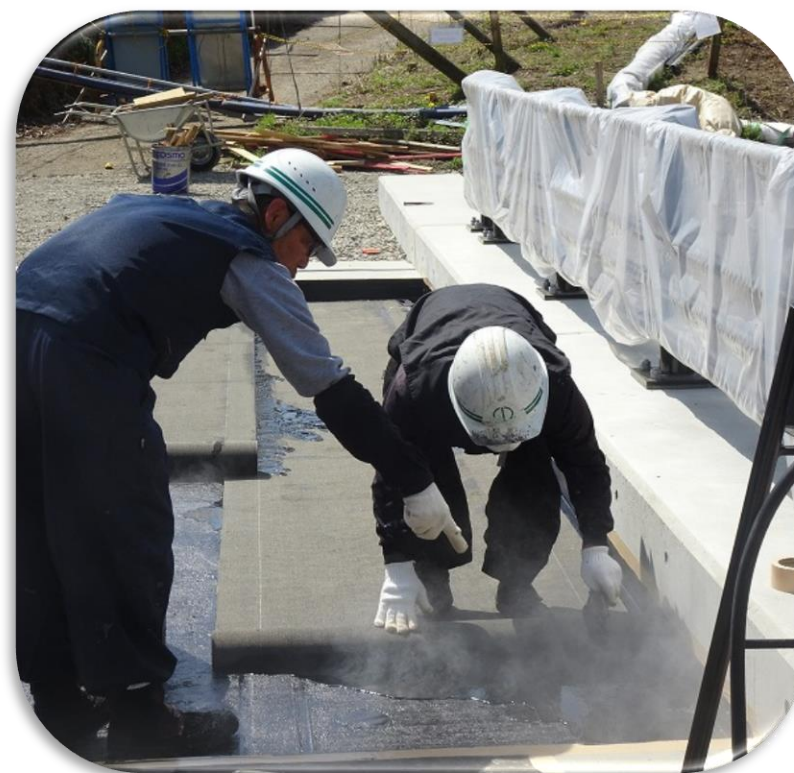
山根さん: はい、こうした実績が認められ、認定証をいただいています。



橋面防水

防水の技術継承

近年の情勢下、**橋面防水**の技能を持つ職人の数が減少する問題がある。300度以上に熱したアスファルト材を使う作業のため、ケガのリスクなどが危惧され県内では請け負う業者はほぼなくなった経緯がある。この課題に対処するために甲府市の武山工業では、**2人の若手職人**が技能の習得に励んでいる。



4 質の高い教育をみんなに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



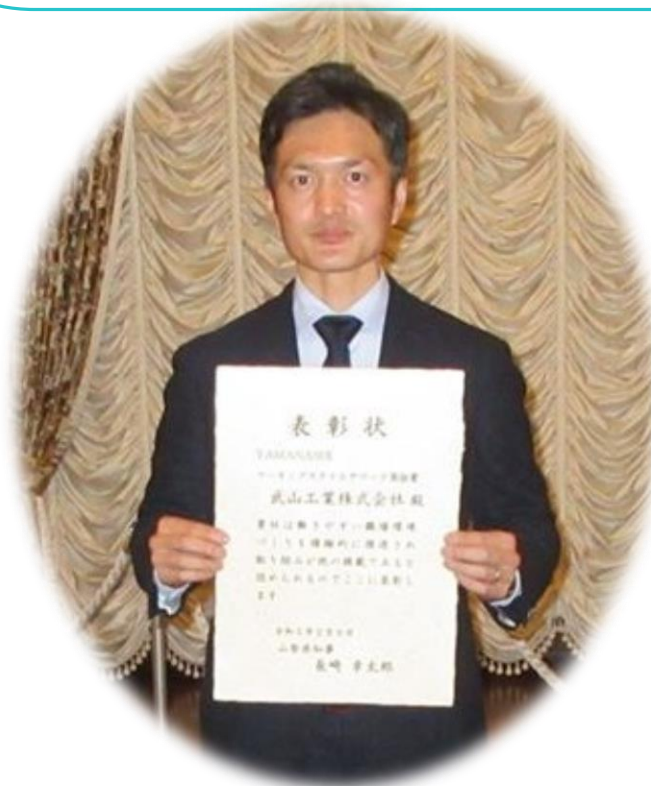
「回りまわって会社の利益に」

専務の想い

武山工業株式会社 SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み	
1	・社会福祉協議会等の活動を支援しています。
2	・食品をフードバンク山梨へ寄贈しています。
3	・健康維持・増進の取り組みが山梨県から認められて「やまなし健康経営優良企業」の認証を取得しました。 ・有給休暇取得促進により、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。
4	・お客様から信頼・愛される企業をめざすと共に、資格取得者に資格取得費用を会社が全額負担しています。 ・職務遂行に必要な知識や技術等を後世に継承するため、社員向けの講習会を開催し、社外講師を招いたり・社内では職長等が講師を務めています。
5	・年齢や性別による職種制限を設けず、本人の希望を尊重し適材適所の配置を行っています。 ・全社員を対象にハラスメント教育を実施しています。
6	・工所用排水の適正処理を徹底しています。 ・社内の水使用量を把握及び検証を行い、常時節水を行っています。
7	・環境負荷低減に繋がる製品の使用を積極的に行っています。 ・会社の照明設備をLEDに切り替え、再生可能エネルギーを有効活用しています。
8	・施工現場で労災事故を起こさないためにも、災害事例等の各種事例を社内及び協力業者と共有し、安全対策の推進や指導の徹底に努めています。 ・社内外に係る各書類に対して電子化を推進しています。
9	・環境配慮製品の提案等、お客様の要望や依頼事項に対し最適な提案を実施しています。
10	・高齢者雇用環境の改善・後進への技術継承に努めています。
11	・積極的に会社近隣の清掃活動を行い、環境の維持に取り組んでいます。 ・環境ボランティア活動を実施、公園の美化活動に取り組んでいます。
12	・備品等の購入に際して、環境配慮製品の購入を実践しています。 ・騒音・振動の軽減対策や工法の選定を行い周辺環境に配慮して施工しています。 ・現場内外再資源化が可能なものは、現場内外ごとに再資源化に努めています。
13	・社会車は低公害車・低燃費車の導入や切り替えに取り組んでいます。 ・アイドリングストップ・急制動への指導等の環境配慮を実施しており、環境に配慮した施工現場を築いております。
14	・改修工事では廃棄物の削減に取り組んでいます。また、廃棄物は適正に処理を行い、土壌汚染の防止に取り組んでいます。
15	・地域の環境に配慮した工法の選定・提供に努めています。
16	・各工事現場の安全確認パトロールを常時実施して、安全確認や法令等遵守状況の確認・指導を実施しています。 ・近隣の清掃活動を定期的に行っています。
17	・協力業者の皆様と、各社の関係強化を図りながら協業を通じた雇用の創出等に貢献しています。

一見お金にはならない社会貢献活動であっても、地域のかたに「ありがとう」と言って貰えて、感謝を伝えられることで存在意義が生まれます。ものづくり以外のところでも自分に自信が少しでも持てる。人間として社会参画できている感覚を味わえるわけです。それが仕事でも生きてくるのでベースアップは勿論として、人的資本に対し評価をしてあげることで、結果的に利益率を上げていくことに間接的に結びつきます。そこから、さらに自信が付き、進んで社会貢献に取り組むサイクルが生まれています。

自分がしてきた苦い経験を今の若手に味合わせないことに注目し、労働環境だけでなく、人材不足の問題にも取り掛かっています。「利益」「人的資本」「社会貢献」に関係性を見出し、持続可能な運営を行っています。



取材を終えて

武山工業さんは**広い視野**で物事を捉えられていると感じました。民間企業の根源にもなる「**利益重視**」という考えを目的としてではなく、一つの基準として捉えており、社員のことを考えた運営や地域におけるボランティアなど**社会貢献の重要性**をしっかりと認識しているようでした。

建設業だからといって、ものづくりという主要事業面のみに注力するのではなく、経営を取り巻く他の要素との絶妙な**バランス**を取ることが出来ているのは企業努力に他ならないと感じ、こういった企業の形態が理想像に近いのかと考えることが出来ました。SDGsの重要性をより実感できるインタビューになったと感じております。



担当レポーター：白鳥霞

「地域と共に歩む」

山梨県民にとって身近な存在である「葡萄」。

農家の方々に、より一層感謝しながらいただきたいと思いました。

山梨県立大学
名取沙羅



SDGsは、利益を生み出すためのものではなく、働いている人たちのプライドを明確化するための良い手法である！

代表取締役社長
古屋浩

企業紹介

- ・2014年に創業した、従業員数23人の会社
- ・主な事業内容は
 - 農産物及び食品の開発・生産・加工・販売
 - 農産物及び食品の販売促進に関するマーケティング
 - レーズンサンド専門店「葡萄屋kofu」の運営

特徴

- ・「豊かで価値あるちいきをつくる」を経営理念とし、「**地域と共に歩む**」ことを大切にしている。
- ・「葡萄屋kofu」では、無添加で作られた半生タイプのレーズン、レーズンサンド、無添加無加糖のブドウジュースを販売。
- ・「葡萄屋kofuハナテラスcafé」では、季節のフルーツパフェや季節のフルーツプレートもご用意！



おぶどうさん

山梨・甲府の人は、ぶどうのことを「**おぶどうさん**」と呼び、「おぶどうさん」が仕事をつくってくれる、地元民にとって大事なものであるという文化がある。

生きがいとして、ぶどうを仕事としている。

創業の思い

代表取締役の古屋さんビジネスマン時代お菓子のグループで、商品開発を行う。売上を1番に考える。

当時はあまりなかった、レーズンを作る事業に出会う。
利益追求だけではなく、地域と共に歩める事業をしたいと考え独立。
洋菓子屋さんでも花形ではないが人気のレーズンサンドを、**山梨の名物**にしたい！





「歴史を持つぶどうを大切に」



出荷することができない
1年目のシャインマスカット

フードロスへの 取り組み

山梨県は葡萄の生産量が日本一であるが、その分捨ている量も日本一だと言える。山梨県で作られている葡萄は「ギフト用の高価なもの」「出荷するもの」「予備につくっておくもの」の3つに分けることができる。しかし、このうち「予備につくっておくもの」は、ほとんど捨てられてしまうのが現状。「つくったものはしっかりと食べる」ことが、歴史にとっても、自然にとっても、農家さんにとっても重要なことなのではないか。また、他県に比べて(加工されていない)生のものが先行して高く売れるため、加工技術が発展しないことから、未利用が多いと考えられる。

捨てられてしまう葡萄や桃を山梨県内の農家さんから集め、レーズンやピューレ等へ加工することで有効活用！



障がいを持っている人が、「仕事がない」「どこで働いたら良いか分からない」という根深い問題を抱えていることに気付く。障がい者、外国人もシームレスであるべきで、適性のある人間をピックアップするときに、**国籍や障がいの有無は関係ない**と考えている。

加工を行う人は、通常5名(1名は障害者、2名はフィリピン人)で、そのうちリーダーとして活躍するのは外国人。**フラットな関係をつくりたい**と願っている。

平等であれ

甲府への こだわり

古屋社長: お店をはじめる前、愛宕山であるおばあちゃんと出会ったんだ。おばあちゃんは、「おじいさんが、ここら辺は良いおぶどうが採れるっていうから頑張ってるんですよ。」と言ったんだけど、そのおばあちゃんが素晴らしくて。家に帰ってから歴史を感じて感動して涙が出てきたんだよね。甲府に葡萄のイメージはあまりないかもしれないけど、甲府にもあるんだという意味も込めて、お店の名前を「葡萄屋kofu」にしたんだ。今では、「一人でも多くの人を愛宕山に連れていき、農家さんたちに「おいしかった」と伝えてもらうことを会社の1つの目標としているよ。



株式会社プロヴィンチア

03

「山梨でつくった葡萄を、山梨で全て消費する」

SDGs推進パートナー 登録理由



世界的な基準でやることは大事であるとともに、グローバルスタンダードでやった方が良い、分かりやすいと考えた。

また、甲府市さんからお話を聞いたこともきっかけとなり、甲府市SDGsパートナーに登録をしている。本来なら捨てられてしまう葡萄や桃を加工して活用することや、国や障がいの有無に関係ない平等な雇用は、SDGsが登場する前から行っていたことであったため、「SDGsに取り組んでいる」というよりも、「**自分のやっていたことがたまたまSDGsに当てはまった**」というのが正直なところである。

しかし、SDGsが登場したことにより、自分のやっていたことがグローバルスタンダードになり、自分の思いがより伝えやすくなったと感じている。

例えば、これまでは店舗で「これが商売になるの？」などと言われることもあったが、SDGsが登場してからは、食ベログに「会社の目指す姿が好き」と書いてくれる人が出てきた。

社長の思い

最終的にやりたいのは、「**地元の農家のお母さんたちとチームをつかって、学校給食のパンにレーズンを使う**」こと。
山梨でつくった葡萄を、山梨で全て消費し、捨てる量も減らしていきたいんだ。だから、レーズンサンドは、通過点の1つだと考えているよ。

SDGsに関しては、**利益を生み出すための手法ではなく**、働いている人たちが働き続けられるエネルギー＝プライドを生み出すための根幹であり、**プライドを明確化するための良い手法**であると考えているから、積極的に発信しようとは思っていないんだ。



取材を終えて



担当レポーター
名取沙羅

「SDGsに取り組もう」と思って取り組んでいるのではなく、「自分の思いでやっていることが、たまたまSDGsに当てはまった」というお話が印象的で、新たな視点でした。SDGsを意識しすぎなくても、**何気ない言動が、SDGsの目指す未来に繋がっている可能性がある**ということ。そして、SDGsは**自分の思いを伝えやすくするための1つの指標**になっていることを感じました。

株式会社プロヴィンチアさんのように、「SDGs」を前面に出した発信はしない、といった考えの企業さんもあると思いますが、企業さんで大切にしていること、心がけて取り組んでいることをお互いを知ることで、SDGsの目指す社会により近づく可能性があるのではないかと思います。

そして、私は山梨県出身で、葡萄や桃などの果樹は比較的身近な存在ですが、多くの時間と思いをかけている農家さんなどの関係者の方々に、より一層感謝しながらいたただこうと思いました。



「多方面に向けた取り組みを」

「交通事故・違反0」
それが達成できる運転
者を世に出したい！

地域があってこそその商
売なので地域社会貢献
を目的としています。

校長
松木準二



2年前に湯村自動車学
校を利用していただけよ
りさらにSDGsの取り
組みが広がってしまし
た。
これからさらに幅広
く
なっていく活動に注
目
していきたいです。

山梨県立大学
馬場麻綸

企業紹介



- ・年間約2000人が教習を受けに来る、昭和38年から続く山梨県甲府市にある「湯村自動車学校」。
- ・お客様から信頼を得ることを全ての原点に、地域社会に貢献する運転者/人材の育成を行っている。
- ・事業内容は、自動車運転教習と高齢者講習/各種講習をはじめとする幅広い事業を行っている。
- ・親切で丁寧な対応を心がけ、一人一人に向き合った教習に取り組んでいる。

SDGsに取り組む きっかけ

- ・地球温暖化の原因の一環である二酸化炭素を減らすため、自分たちには何ができるだろうかと考えた。
- ・「教習バッグ」「クリアファイル」の脱プラスチックに成功した。
- ・他にもペットボトルキャップの回収に取り組むなど、徐々にSDGsの項目達成のため活動を増やしていく予定。

推進方法

社内への推進方法

- ・朝礼
- ・ホームページ発信

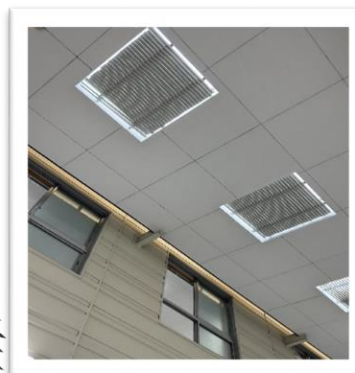


これらを通じて行っている。
また、日頃の行動や取り組みから、社員は自ら行動するなど意識が高まっている。

社員への対応

【賃金・休暇・福利厚生の実績】

- ・賃金が高い
 - ・賞与年3回（通常は夏冬で2回程度）
 - ・年間休暇116日（2024年4月以降）
 - ・有給休暇取得の容易さ
 - ・繁忙期の夜食支給
- 3つの充実→社員の満足度向上→社員のやりがいにつながる→質の高いサービスを行う→お客様満足度の向上



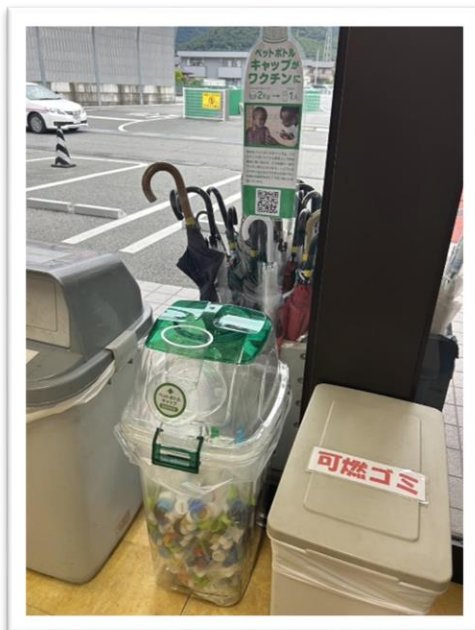
「できることから少しずつ」



SDGs取り組みのメリット

SDGsの活動をしていくにあたって「SDGsバッジ」を国連から購入。これは、湯村自動車学校のイメージアップすること以外にも社員各位への意識づけにもなっている。

実際に、物を大事にするようになったと感じている。また、ペットボトルキャップ1つとっても全社員が分別するようになり、それがお客様にも伝っていき、多くの人に取り組むようになるなど効果をあげている。

ペットボトルキャップ
の回収

集められたものは、プラスチックのリサイクル資源として回収し、業者に買い取られ金額の一部がワクチンの寄付になる。

SDGsの取り組みが行われていることで社員の意識も高まっていることから、お客様だけでなく全社員でキャップを回収している。

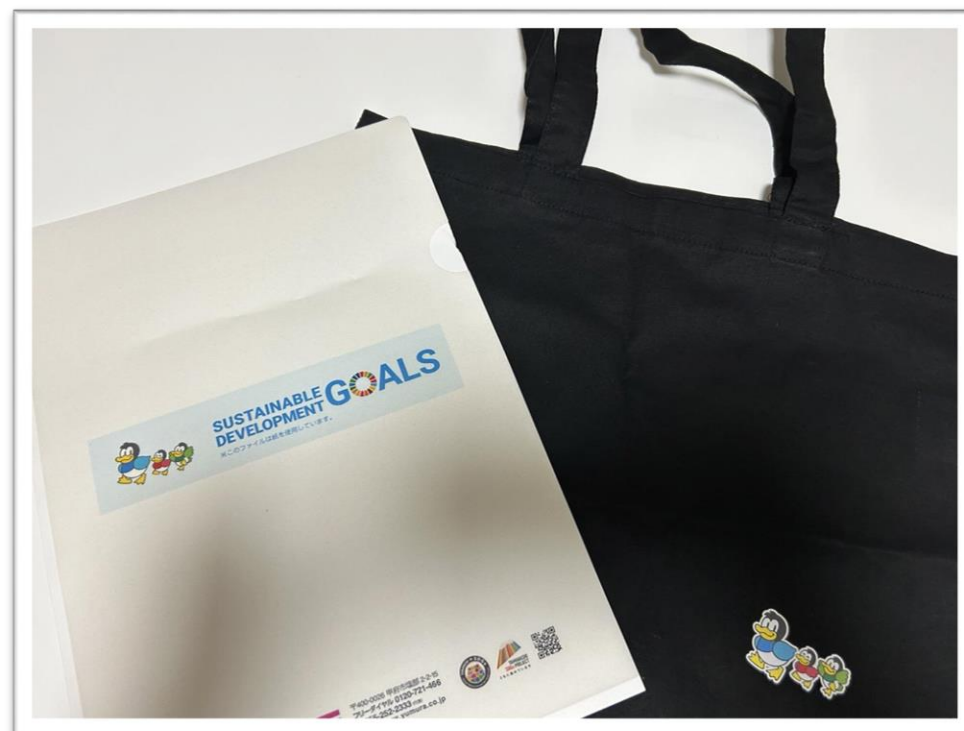
教習バッグ
クリアファイル

クリアファイル

→入校の際に全員に配布しているファイル。年間2000人程度に配布しているため、環境を考慮し、「脱プラスチック」に取り組む、紙製のファイルに変更。石油資源の消費削減と海洋プラスチックゴミを抑える。

教習バッグ

→以前はプラスチックで作られたファイルのようなバッグであったが、SDGsに考慮し右のようなバッグに変更。素材から選択し、薬品や化学肥料を3年以上使わず、有機農法で育てられたコットンを用いた「オーガニックコットンバッグ」。自然に優しく、しっかりとした作りになっている。



教習メニュー
普通自動車（一種）（二種）
準中型自動車
自動二輪車
普通AT解除限定コース

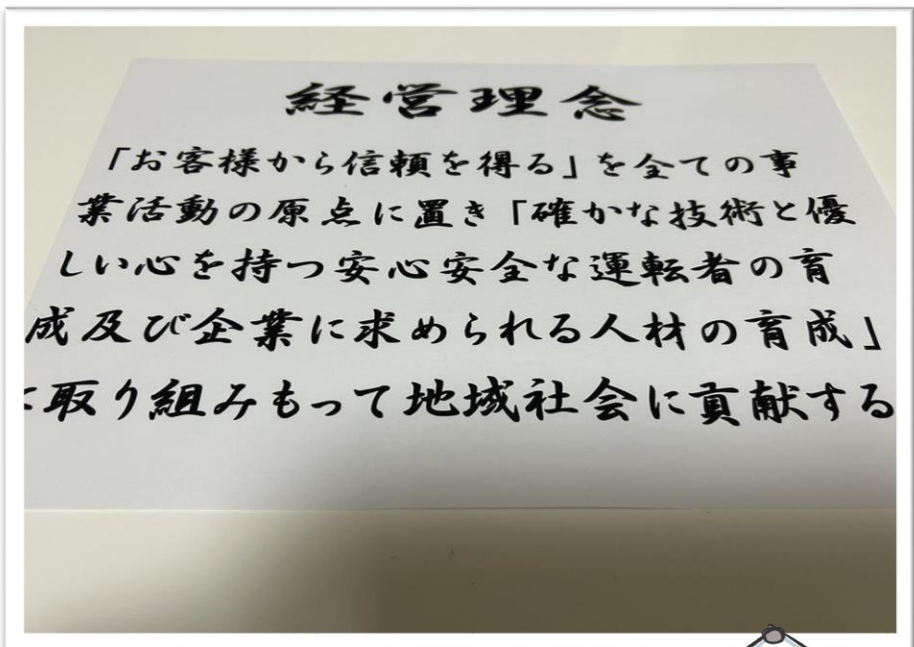
お申し込みはHPまで



YouTube

<https://www.youtube.com/@user-fl6bu6bm6c/videos>

「目標はSDGs全項目達成」



校長の想い

SDGsに関する活動は、**事業の一環**として行っています。色々な事業の中でも**身近なもの**であり、真剣に取り組んでいることから、社員にもその雰囲気伝わり協力的になってくれています。

また、例えばペットボトルキャップを捨てずに会社に持ち込んで回収してもらうなど、会社で取り組んでいることを家に帰っても行うようにしています。

湯村自動車学校が様々なSDGsに取り組むことで、最終的に達成したい目標は「**SDGs全項目達成**」です。現在の多様な取り組みをしていくことから、SDGsの全項目に対応したいと思います。

できることから少しずつ始め、それが社員の皆さんにも伝わる、そうすることでSDGsを達成することができるのではないかと考えています。

取材を終えて

今回のインタビューは、SDGsについて**より身近に感じるきっかけ**となりました。

SDGsというと、一見難しく手が出しづらいイメージがありましたが、湯村自動車学校の取り組みから**日常の至る所にもSDGsが存在**していることに気づきました。

湯村自動車学校は、社員の年齢や立場問わず一緒にSDGs達成に向けて取り組んでいます。

社長が社員に1から全て指示し強制するのではなく、自分たちの意思で会社を良くするために行動していることが社内の**協力的な雰囲気**を作り出しているのだと感じました。

取り組みはお客様に向けた物事にも対応されており、それに気づくことでお客様にも伝わり湯村自動車学校全体でSDGsを推進する空気が生まれる、そのように今後は展開されていくのではないかと思います。



担当レポーター
馬場麻綸